

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中でどの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 263	地図番号 294	① 普通注記	ページ
項目名 かつぐ(荷物) 263		〔B 除いた共通語〕	( / )
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0724.58	kadzumju (メツクに使われぬ)	
0724.95	katagju <カタイデイクといふの? カタ? から 日常使用されている>	katsumju
0747.70	katsumju ... katami~	
2782.16	kadziku	
4588.98	katakakeru <?>	
4619.98	kutsuneru 調査票がTok.の子 Tok.	
4648.42	kata e kakete ka <sup>m</sup> zuku... <丸改め? 言方>	
	kata e ka <sup>m</sup> zuku... <丸改め? 普通の言方>	
4666.42	Gikkakeru 後藤藤吉 [kataneru]	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 263	地図番号 294	① 普通注記	ページ
項目名 かつぐ(荷物)		〔B 除いた共通語〕	
293		〔C 除いた特殊語〕	(2)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4686.02	katsumeruu <新英> katameruu <これを用いることが多い。>	
4686.96	kazukuu <英>	kata e. kakeruu
4713.02	buukkatsuijii < 261のbiu:と 264のkatsuijii とを兼ねたものがあるから >	
4725.92	kakeisu (勿論“運り”意味がある)	
4734.20	qikkakeisu (この語は264の“katsuijii” 2'から。それと別れた語は2.711から 回答はもの)	katsuijii

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
263	294		
項目名		(B 除いた共通語)	(3)
かつぐ(荷物) 268		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4742, 43	kakeru 〈軽い荷物のみ〉 katsuk <u>ku</u> 〈重い荷物のみ〉	
4746, 20	kake <u>ru</u> (この絵のように軽いもの。更に zaku <u>ru</u> 着物などは運ぶ動作と着物の この語を使う。勿論カケルには掛けの意もある。 も比重のものを入れれば片方の肩でも kats <u>ru</u> と云う)	
4760, 98	kats <u>ru</u> uiaの中古化は軽微	
4761, 07	* kakeru (264を答20から263と語形が 同じであるに気づき訂正したもの。)	kats <u>ru</u>

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 263	地図番号 294	① 普通注記	ページ
項目名 かつぐ(荷物) 208		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(4)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5472, 31	? カク=カケル	
5536, 29	kakeru <肩へ—>	
5538, 63	? katsigu	
5549, 32	kakeru <?>	katayu
5558, 09	katameru <?>	
5625, 91	kata ni kakeru [Gikkakeru]	
5629, 17	かつぐ <重い物の場合> カクエカケル <軽い物場合>	
5631, 26	? katsugu	
5638, 54	カク= エツカケル <多く使う>	カク=カケル

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 263	地図番号 294	① 普通注記	ページ
項目名 かつぐ(荷物)		〔B 除いた共通語〕	
263		〔C 除いた特殊語〕	(5)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5642.67	? katsunu	
5652.37	Gikkatsunu <katsunuu <sub>1</sub> 言わぬ>	Gikkakeru
5663.68	katsunu * Sou	
5666.22	カタエ カケル <カッダ <sup>1</sup> ト 17+1>	
5696.68	kakeru <但し kata ni kakeru? katade 2 <sup>1</sup> は Tsu>	
5697.53	Gikkakeru <軽 <sup>1</sup> 物に限り>	
5721.27	katakake süuru <おたけ 便り>	
5721.77	katsünyu <おつ 大器 <sup>1</sup> 茶 <sup>1</sup> 言 <sup>1</sup> 方>	katakake süuru

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 263	地図番号 294	(A) 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (6)
項目名 かつぐ(荷物) 263			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5761.77	kata e kakeru <軽いおとまり>	katsuyuu
6385.28	NR [kakeru... 村長の言]	
6395.61	karu: ① katakakeru	
6421.82	katsiyuu <新>	inam
6424.92	カツグ <普>	カツグ
6425.41	カツグ <普>	カヅグ
6435.03	カツグ (普)	カケル
6443.61	? カケル	
6451.83	カケル ... <カツ=>~	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 263	地図番号 294	① 普通注記	ページ
項目名 かつぐ(荷物)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(7)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6453.59	カケル (カヤグとは言わない) ウケケル (名詞)	
6458.91	カケル カタ=カケル	
6476.92	カヤグ<英>	カタグ"
6482.75	ou (katagou という人もある.)	
6485.30	カケル <カケテキタ。>	
6485.46	エツカケル <カタエ エツカケテイクはビという。 カタグとはエツカケルとは言わない。>	
6486.93	カタ=カケル ("片方の肩にぶら下り包みをおける") カケル という言い方はある.)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( ) ( ) は厳密にする。

質問番号 263	地図番号 294	① 普通注記	ページ
項目名 かつぐ(荷物) 208		(B 除いた共通語)	(C 除いた特殊語)
			(8)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6492.50	katsugue <omoi momo no toki, oiba: nado wa kakeru>	
6496.72	kataidoru → kataguかき Tok.	
6497.77	katagu<?>	
6501.92	かゞゞ" ... かゞ=～	
6514.25	katameru(?)	hikkakeru
6522.03	かゞゞゞル --- (かゞ=)～	
6526.08	かゞゞ° <かゞゞは重いものを肩にのけて とる。>	かゞゞル. かゞゞゞル
6532.93	かゞゞゞル(五)・かゞゞゞルは 20はあ(7とん)	かゞゞゞ



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 263	地図番号 294	① 普通注記	ページ
項目名 かつぐ(荷物) 245		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(9)

6542.71  
katageru  
= 430

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	301語. おしろ 264の時はおく使ひ.	
6539.78	kazuku <重いもの>	
	kakeru <軽いもの>	
6547.09	? kakeru <Shellからおしろ判らぬもの の輪は kakeruと言ひの適當なと思ふ...>	
6553.52	uainakeru (「脇掛ける」の意なるべし.)	
6571.34	kaikakeru (「肩へかける」の意)	
6572.55	settaraü ① seou	
6575.40	[kadzukuü]	o'imeru
6576.93	* kakeru	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 263	地図番号 294	① 普通注記	ページ
項目名 かつぐ(荷物) 263		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(10)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6577.86	* kakeru	
6581.68	カケイル	
6583.19	kakeru ... (kata e) ~	
6584.90	<del>kakeru</del> kakeru 調査簿に訂正 Hom. <sup>8/6</sup>	
6591.57	katsuyuu <日常語として用いται>	katayeru
6593.98	kakeru ... (kata ni) ~	
6629.98	? Soue	
6635.36	gi'katsuyuu 卑	katsuyuu
6640.34	katsuyuu <新>	kazuku
6650.12	katsuyuu 希	kakeru

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 263	地図番号 294	① 普通注記	ページ
項目名 かつぐ(荷物)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(//)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6652.77	Furisou 古	kakeru
6653.30	<del>kateru</del> kakeru 調査者 望月 謙三氏訂正 8/2 Hom.	
6662.01	kakeru 軽いもの	Sou
6686.75	katsuyu 〈古?〉	katakakepisou
6730.27	kataekakeru * katsuyu	
7229.75	kata mi kakuru 〈大きいもの? あみ?〉 kataguru	
7289.31	kate: kakuru kate: = 肩:	
7309.61	katagu 〈= のか? 古い?〉	katsugue

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 263	地図番号 294	① 普通注記	ページ
項目名 かつぐ(荷物) 263		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(12)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7324.96	kata mi <u>kaketso</u> このアクセントに特色あり	
7329.31	hi <sup>*</sup> kakeru (肩? でか 肩: であろと 思ふ。被調査者はこういふ方は hi <sup>*</sup> kakeru であるといふ。他の表現を出さぬから。)	
7329.57	kakeru ( "肩? ~ " と念を押した。絵に 10.12 "肩: ~ " の意識の消滅に示唆される。)	
7332.27	kata mi <u>kakeru</u> kwt 云々+かつ (案)	
7334.44	karu: ... (kata mi) ~	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 263	地図番号 294	① 普通注記	ページ
項目名 かつぐ(荷物)		〔B 除いた共通語〕	
263		〔C 除いた特殊語〕	(13)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7346.63	kakuru ... (katai) ~	
7353.51	〈?〉 カタデ <sup>がライ</sup> カ <sup>リ</sup> イ <sup>スル</sup> (片手荷負 <sup>スル</sup> の意味かという)	
7367.49	nanjakuru ... (肩=) ~	
7375.37	kataguru 〈今からわづ場合に言う。 [kataget(soru)]は他人のを見た 場合に言う。〉 分布から併用とす。Tok.	katagu
7386.58	katsugu 〈多〉 (方言形が[katagu]より 共通語形の[katsugu]の方が 権威言葉になつてゐるようである。)	katagu

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ 中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 263	地図番号 294	① 普通注記	ページ
項目名 かつぐ(荷物)		〔B 除いた共通語〕	
265		〔C 除いた特殊語〕	(14)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7392.45	↓ kate: maykaruyuu * maykaku yuu	
7401.92	kata pi kakoruu (図に示すものゝ如きは 思われず。"片方の肩"に片は包み等へ いりて、同じ答をいふかゝるゝ。)	
7417.22	utjikataidoruu → utjikataguu Hom.	
7417.72	kata <sup>1</sup> mi kakoruu ? telzok Tok.	
7420.91	katakake ni suta (倒文の類語からは 九曜様に感じぬ。〈川邊に2向り下る。〉といふ由)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。  
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。  
 ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 263	地図番号 294	① 普通注記	ページ
項目名 かつぐ(荷物) 268		〔B. 除いた共通語〕	
		〔C. 除いた特殊語〕	(15)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7430.75	katsuegu (katagu, katai-dee いけもある。)	
7452.08	kuzu: (7ジューテ イキヨルチロ)	
7461.77	gikkakeru ... (katae) ~	
7501.14	katsuegu <多>	katagru
7512.43	katsuegu <英>	gikkakeru
7513.01	katsuegu <英>	utjikakeru
8239.31	kada ni Fukkaguru (「肩にウツカケ」の義)	
8303.84	karau ... (kataippoji) ~	
8315.42	kakuru ... (katapi) ~	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 263	地図番号 294	① 普通注記	ページ
項目名 かつぐ(荷物)		[B 除いた共通語]	
245		[C 除いた特殊語]	(16)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8315.46	kakuru ... (方言の言い方)	kakeru
8322.43	utj; kakut (うちかたる)	
8324.83	kakui (自分の時)	kaketsoi
8335.83	Gikkakuru <自分の時>	
8344.71	Gidaigate karu ( <u>左肩にひく</u> という)	
8352.92	katekake? (背に掛かる)	
8360.39	kate: karu <kate: に ついて karu という>	
8373.08	kate kakut <右に包みを <u>肩にひく</u> という>	
0228.96	kataũiro (本土方言のカタムルに当たる)	
0238.55	katamiro <katamirjunaの略式ならん>	



- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で的情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) ( ) は囲密にする。

質問番号 263	地図番号 294	<input checked="" type="checkbox"/> ① 普通注記 <input type="checkbox"/> [B] 除いた共通語 <input type="checkbox"/> [C] 除いた特殊語	ページ (17)
項目名 かつぐ(荷物) 263			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0247.31	katamjun (右の形を略した言方。 日本語の影響によるもの)	katamjurjun
1232.75	? hata zuttaki SUN	
1241.05	? kãtãmi:N	
1261.80	? kata mi uttsaki:N (肩にものを置く katugukiは丸ちのうのように思う)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) ( ) は厳密にする。

質問番号 263	地図番号 294	A 普通注記	ページ
項目名 かつぐ(荷物) 263		B 除いた共通語	( / )
		C 除いた特殊語	( / )

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5687.86	[カツク°] 余り被調査者が絵をみよ 水が答カケル 水が。水が迫力におされたらし。 片方の肩に...カケルの意である。 片方の肩で... ( ) はうっけり聞かぬら。 あとびや三者にこれを聞いたら(狭山市民)。 カツク以外に無いという。	
6410.77	フリエナエ	(フリエナ) ... (フリエナ) と
6560.40	カウイダ	カツク°, カツク" フリカクケニスル カケル

